

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略
事業評価シート（令和4年度）

重要業績評価指標（KPI）一覧表

基本目標1 安定した雇用の確保と地域産業力の強化

| 区分 | 評価指標 | 取組状況 | 目標値 | 実績値 | 評価 |
|----------|-------------------------|--|--|------------------|-------------|
| 基本目標指標 | 企業立地や奨励金交付事業による村内新規雇用者数 | 雇用促進奨励金は、工場の敷地面積3,000㎡以上、もしくは建築面積1,000㎡以上のいずれかに該当し、かつ操業開始時に村内に住所を有している雇用者が5人以上で、引き続き1年以上継続して雇用していることが交付要件であり、1回限り1人につき20万円（50人（1,000万円）まで限度である。 令和4年度は、約6,000㎡の残地について分譲とならなかったため、今後も誘致活動を行い、早期の分譲終了を目指す。なお、令和3年度に分譲となった（株）フジ電科は、令和7～8年度の創業予定。 | 15名 (R2～R6累計) | 0名 | 2未達成（50%未満） |
| 重要業績評価指標 | 固定資産税課税免除実施数 | 東日本大震災復興特別区域法及び企業立地促進法に基づき、事業者が事業のための施設又は設備の新設又は増設を行った場合の固定資産税の課税免除をしている。 | 15社 (R2～R6累計) | 11社 | 3未達成（80%未満） |
| | 新たな交流の場の創出 | 道の駅の機能を拡充し、道の駅を拠点とした交流機会の創出と地域経済の活性化を図るため、各種交付金、補助金を活用し、村の魅力である自然環境と調和した「てんえいふるさと公園」の整備に取り組む。 | 1件 (R6) | 0件 | 2未達成（50%未満） |
| | 新規就農者数 | 長ネギ生産者1名、きゅうり生産者2名(夫婦)が新規就農者として認定され、国の交付金である新規就農者育成総合対策事業補助金を活用し、支援している。 | 8人 (R2～R6累計) | 6人 | 3未達成（80%未満） |
| | 自立支援事業による相談、就労支援件数 | 平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立支援制度として、自立相談支援事業を実施。県から県社協への委託（本村担当窓口は県中・県南生活自立サポートセンター）。訪問支援（アウトリーチ）も含め、生活と就労に関する相談をワンストップ型窓口として機能している。 | 相談60件 (R2～R6累計) 就労支援10件 (R2～R6累計) | 相談37件 就労支援15件 | 3未達成（80%未満） |

基本目標2 天栄村への新しいひとの流れの創出

| 区分 | 評価指標 | 取組状況 | 目標値 | 実績値 | 評価 |
|----------|------------------|---|-----------------|------|-------------|
| 基本目標指標 | 純異動数（転入-転出） | - | -22 (R2～6平均) | 0 | 5達成（100%以上） |
| 重要業績評価指標 | 移住・二地域居住問い合わせ件数 | 地方創生推進交付金を利用し、移住希望者と空き家のマッチングや移住に関する相談窓口の充実を図るため、H30より移住コーディネーターを配置しR2からは（一社）天栄ふるさと夢学校へ移住相談窓口等業務を委託している。移住相談件数は延べ142件と前年度比28件の減。リモートによる案内や関係機関との調整も担い、相談1件あたりの負荷が大きくなっている傾向にある。 | 250件 (R6) | 142件 | 3未達成（80%未満） |
| | 移住定住希望者現地検討会参加者数 | コロナ禍によりR2年度R3年度の実施は見送り、R4年度はこおりやま広域圏市町村の合同地域体験ツアーを実施。本村は石川町と合同で実施した。 | 40人 (R6) | 10人 | 2未達成（50%未満） |

| | | | | | | |
|----------|------------------|---|-------|------|-------|---------------|
| 重要業績評価指標 | 移住希望者短期滞在支援者数 | 感染症の影響により、首都圏からの短期滞在型の移住体験を実施することが困難であった。移住希望者が村の暮らし等を体験できるための手段について改めて検討するとともに、短期滞在住宅の確保を進めていく。 | 25人 | (R6) | 0人 | 1 未実施・把握できない |
| | 空き家バンク相談件数 | 空き家の利活用及び中古住宅の流通促進を通して、空き家の発生や増加を抑制するとともに、地域の活性化及び地域の環境保全を図ることを目的に、村内の空き家の所在や詳細の把握、所有者へ空き家バンク登録への誘導や促進、利用希望者への現地案内等の調整を行った。 | 40件 | (R6) | 13件 | 2 未達成 (50%未満) |
| | 片付け・リフォーム補助利用件数 | 空き家バンク登録物件所有者または利用者が登録物件に居住するための家財処分や改修等費用に対し、最大3/5、150万円の補助を行っている。 | 3件 | (R6) | 0件 | 2 未達成 (50%未満) |
| | 関係人口創出のための取り組み回数 | 天栄ファンクラブ制度の運営、県中地方振興局との共同実施によるオンライン交流事業の開催、村オリジナル手拭い“てんぬぐい”作成・配布、カレンダー作成等、主にオンラインやweb、SNS、郵送等を活用した間接的な交流を軸に、さまざまなターゲットに対して関係人口創出の取り組みを実施した。 | 4回 | (R6) | 4回 | 5 達成 (100%以上) |
| | 観光入込客数 | 天栄村観光協会と連携し、観光PR事業、天栄村サポーター事業、ファミトリップツアー事業等を実施し、誘客促進に努めた。 | 380千人 | (R6) | 447千人 | 5 達成 (100%以上) |
| | 滞在型誘客促進事業 | 令和2年度で事業終了。 | 100件 | (R6) | - | 1 未実施・把握できない |

基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実

| 区分 | 評価指標 | 取組状況 | 目標値 | 実績値 | 評価 |
|----------------------|--|---|-----------------------|--------------------------------|---------------------|
| 基本目標指標 | 合計特殊出生率 出生数 | 子育て支援に関する支援事業の見直し、補助事業の確立と実施。 | 1.3 (R2～R6 平均) | 0.70 | 3 未達成 (80% 未満) |
| | | | 195名 (R2～R6 累計) | 66名 | |
| 重要業績評価指標 | てんえい縁結び応援サポーターによる婚約数 | 独身者がいつでも気軽に相談できる体制確保のため縁結び応援サポーター制度を充実させ、地域の結婚希望の男女の出会いの創出やきっかけづくりに繋げる。 | 5組 (R2～6累 計) | 0組 | 2 未達成 (50% 未満) |
| | 特定不妊治療費助成による妊娠成功件数 | 令和4年4月1日より特定不妊治療費が保険診療に位置付けられた。保険適用の円滑な移行に向け、令和3年度から令和4年度の移行期に治療がまたがっている方々に対し、治療計画に支障が生じないよう、その経済的支援の軽減及び少子化対策の推進を図ることを目的に実施。 | 8件 (R2～R6 累計) | 3件 | 2 未達成 (50% 未満) |
| | 周産期死亡数 | 妊娠届があった妊婦に対して、母子健康手帳及び妊婦健康診査受診票（15回分公費負担）を交付し、妊娠早期から継続的な支援を実施している。 | 0件 (R6) | 0件 | 5 達成 (100%以 上) |
| | 全国学力・学習状況調査 (問題全国平均正答率の比較) | 県教育委員会が作成した「ふくしまの授業スタンダード」を基に主体的・対話的で深い学びが各校で展開されるとともに、「ふくしまの家庭学習スタンダード」による家庭学習への取組みの習慣化を推進した。令和4年度は、小学校は全国平均を下回り、中学校は全国平均下回った。 | 全国平均を上 回る (R6) | 小：全国平均下 回る 中：全国平均下 回る | 2 未達成 (50% 未満) |
| | 英検3級取得率（中学校卒業まで） | 中学校卒業までに全員が英語検定3級以上を取得することを旨とし、英語検定の受講料を補助する。 | 30% (R6) | 24.4% | 4 ほぼ達成 (80%～99%) |
| 村外の大学生と地元住民との交流事業の開催 | 高齢者の認知症予防としてeスポーツの体験会を開催。技術的サポートとして村外の学生たちにも参加してもらい、地域の高齢者との交流を図った。普段馴染みの無いコンピューターゲームを高校生から操作方法の指導を受け、実際に体験してもらうことができた。やりながら徐々に学生との会話も増え笑顔が見られた。 | 400名 (R2～R6 累計) | 104名 | 2 未達成 (50% 未満) | |

基本目標 4 暮らしやすい生活環境の形成

| 区分 | 評価指標 | 取組状況 | 目標値 | 実績値 | 評価 |
|----------|--------------------------|---|----------------------------|-------------------|------------------|
| 基本目標指標 | ”住みやすい”と答えた人の割合 | 令和元年9月に村内在住の15歳以上65歳未満の方から無作為に抽出した500名を対象に村民アンケートを実施し、第2期総合戦略においてアンケート結果をもとに様々な施策を展開している。 | 72.5% (R6) | - | 1 未実施・把握できない |
| 重要業績評価指標 | 郡山広域圏における連携の推進 | 人口減少・少子高齢化社会においても、活力ある地域経済を維持するとともに、圏域住民全体が将来も安心して快適な生活が送れる地域づくりを目指し、17市町村が連携し各種事業に取り組んでいく。 令和3年度に磐梯町が加入し、現在圏域構成市町村は17市町村。 | 継続 (R2~R6) | 継続 | 5 達成 (100%以上) |
| | バス・タクシー利用券の利用件数 | 天栄村高齢者バス利用助成事業、天栄村高齢者等タクシー利用助成事業ともに、ホームページへの掲載や各種事業、イベントに併せてチラシの配布を行い利用の促進を図っている。また、天栄村高齢者等タクシー利用助成事業については、令和4年8月に要綱改正を行い、湯本地区住民も対象とした。 | 40件 (R6) | 32件 | 5 達成 (100%以上) |
| | 福祉車両貸出件数 | 福祉車両貸出事業として、村内に居住する自力で歩行が困難な高齢者や重度の身体障害者又は知的障害者等に対し、外出を支援するために福祉車両の貸出しを実施し、健康で生きがいのある長寿・福祉社会づくりを図る。 | 50件 (R6) | 38件 | 4 ほぼ達成 (80%~99%) |
| | 高齢者生きがい活動支援事業参加者数 | 高齢者の生きがいづくりを目的に、湯ったりミニデイサービス事業 (年5回)、水中ウォーキング事業 (年9回)、いきいきサロン事業 (年9回)、湯本サロン事業 (年9回) を実施している。令和4年度はコロナ禍により、事業の実施回数が減った。 | 300人 (R6) | 107人 | 2 未達成 (50%未満) |
| | 地域自主サロン数及び参加者数 | 地域コミュニティ及び健康増進、介護予防の推進のため、各地区又はグループによる茶話会に健康体操や栄養指導、口腔衛生指導を実施。 | 8か所 (R6) | 5か所 | 3 未達成 (80%未満) |
| | 生涯学習センター利用者数 体育施設利用者数 | 生涯学習センターについては、各種講座等主催事業の他、各種団体等への会議、活動への貸し出し利用、また、一般の方々等の図書室利用や中学生の下校時の待機場所としての利用がある。 また、体育施設については天栄村総合農村運動広場、天栄村体育館、天栄村屋内運動場、天栄村屋内スポーツ運動場を村主催行事の他、村内外の個人、団体及び中学校の部活動等に貸し出ししている。 | 92000人 (R6) 39000人 (R6) | 130642人 18804人 | 3 未達成 (80%未満) |
| | ふるさとサポーター会員数 | 天栄村を支えていただける応援団「天栄村サポーター」を募集する。会員に、イベント等の案内を随時お知らせするとともに、特典付き会員パスポートを送付し来村を促進する。さらに、4,000円相当の村特産品及び商品紹介のチラシ等を送付し、新規顧客の開拓等の事業効果を図る。 | 550人 (R6) | 515人 | 4 ほぼ達成 (80%~99%) |

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和4年度)

| 基本目標 | | 基本目標1 安定した雇用の確保と地域産業力の強化 | | | | | |
|----------------|--|---|-----|--|------|-------------|---------|
| 基本目標指標 | 企業立地や奨励金交付事業による村内新規雇用者数 | | | 目標値 | 15名 | (R2～R6累計) | 担当課 産業課 |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | |
| | 基準値 | R1 | | 7名 | | (0社) | |
| | 目標と実績 | R2 | | 0名 | 0.0% | (0社) | |
| | | R3 | | 0名 | 0.0% | (2社) | |
| | | R4 | 15名 | 0名 | 0.0% | (0社) | |
| | | R5 | | | 0.0% | | |
| | | R6 | | | 0.0% | | |
| 合計 | | 15名 | 0名 | 0.0% | (3社) | | |
| 主な事業の取組状況(D) | 雇用促進奨励金は、工場の敷地面積3,000㎡以上、もしくは建築面積1,000㎡以上のいずれかに該当し、かつ操業開始時に村内に住所を有している雇用者が5人以上で、引き続き1年以上継続して雇用していることが交付要件であり、1回限り1人につき20万円で50人(1,000万円)まで限度である。令和4年度は、約6,000㎡の残地について分譲とならなかったため、今後も誘致活動を行い、早期の分譲終了を目指す。なお、令和3年度に分譲となった(株)フジ電科は、令和7～8年度の創業予定。 | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | | | 村内に住所を有する新規雇用者数が5人以上で継続して1年以上雇用という条件があることからなかなか実現には至っていない状況。 | | | |
| | 2 未達成(50%未満) | 問題・課題等(C) | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 理由 | | | | | |
| | 2 指標の変更を検討 | (D)のとおり、分譲→工場建設→創業開始→1年以上雇用となるまにでは時間が要する。 | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 分譲会社と連携を取りながら雇用の創出、地域産業力の強化を図っていきたい。 | | | | | | |

| 施策 | | 1. 地域産業の活性化 | | | | | |
|----------------|---|--|-----|----------------|-------|-------------|---------|
| 重要業績評価指標(KPI) | 固定資産税課税免除実施数 | | | 目標値 | 15社 | (R2～R6累計) | 担当課 税務課 |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | |
| | 基準値 | R1 | | 15社 | | | |
| | 目標と実績 | R2 | | 5社 | 33.3% | | |
| | | R3 | | 4社 | 60.0% | | |
| | | R4 | 15社 | 2社 | 73.3% | | |
| | | R5 | | | 73.3% | | |
| | | R6 | | | 73.3% | | |
| 合計 | | 15社 | 11社 | 73.3% | | | |
| 主な事業の取組状況 | 東日本大震災復興特別区域法及び企業立地促進法に基づき、事業者が事業のための施設又は設備の新設又は増設を行った場合の固定資産税の課税免除をしている。 | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | | | 制度の周知が必要と思われる。 | | | |
| | 3 未達成(80%未満) | 問題・課題等(C) | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 理由 | | | | | |
| | 4 現状維持 | 復興特区に係る減収補填について、令和3年3月31日までの施設及び設備の増設までで終了となるが、令和5年度以降は過疎法に係る減収補填が始まることとなるため現状維持でよいと考える。 | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 過疎法に係る減収補填が始まるため、制度の周知が必要と考える。 | | | | | | |

| 重要業績評価指標 (KPI) | 新たな交流の場の創出 | | | 目標値 | 1件 | (R6) | 担当課 | 産業課 |
|----------------|---|--|--|-----|------|------------------|-----|-----|
| | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| 事業経過 | 基準値 | R1 | | - | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | 1件 | 0件 | 0.0% | 第2期造成工事完了 | | |
| | | R3 | | 0件 | 0.0% | 第3期造成工事完了 | | |
| | | R4 | | 0件 | 0.0% | 直売施設新築・駐車場整備工事完了 | | |
| | | R5 | | | 0.0% | | | |
| | | R6 | | | 0.0% | | | |
| | | 合計 | | 1件 | 0件 | 0.0% | | |
| 主な事業の取組状況 | 道の駅の機能を拡充し、道の駅を拠点とした交流機会の創出と地域経済の活性化を図るため、各種交付金、補助金を活用し、村の魅力である自然環境と調和した「てんえいふるさと公園」の整備に取り組む。 | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 問題・課題等(C) | 令和5年度以降、広場施設の整備に向けて、整備内容の検討を早急に進める必要がある。 | | | | | |
| | 2 未達成(50%未満) | | | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 理由 | | | | | | |
| | 4 現状維持 | 直売施設及び駐車場整備については完了したが、広場整備については未完了である。 | | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 国の交付金等の特定財源を受け、R5年度に広場施設の整備工事等を進め、事業の完成を目指し、道の駅を拠点とした交流機会の創出と地域経済の活性化を図る。 | | | | | | | |

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和4年度)

| | | | | | | | | | |
|----------------|--|--------------------------------------|-----|--|-----|-------------|---------|-----|--|
| 基本目標 | 基本目標1 安定した雇用の確保と地域産業力の強化 | | | | | | | | |
| 施策 | 2. 持続可能な農林業の推進 | | | | | | | | |
| 重要業績評価指標(KPI) | 新規就農者数 | | | 目標値 | 8人 | (R2~R6累計) | 担当課 | 産業課 | |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | | |
| | 基準値 | H30 | / | 4人 | / | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | | 8人 | 1人 | 12.5% | | | |
| | | R3 | | | 3人 | 37.5% | 新規認定者3名 | | |
| | | R4 | | | 2人 | 25.0% | 新規認定者2名 | | |
| | | R5 | | | | 0.0% | | | |
| | | R6 | | | | 0.0% | | | |
| 合計 | | 8人 | 6人 | 75.0% | | | | | |
| 主な事業の取組状況 | 長ネギ生産者1名、きゅうり生産者2名(夫婦)が新規就農者として認定され、国の交付金である新規就農者育成総合対策事業補助金を活用し、支援している。 | | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 問題・課題等(C) | | 新規就農に係る新規就農者育成総合対策事業の採択要件が厳しい状況ではあるが、JA、農業普及所、農業委員会と情報共有を図る。 | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 理由 | | | | | | | |
| | 4 現状維持 | 令和4年度末で認定新規就農者が6名となり、目標値の75%を達成したため。 | | | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 令和4年度は、2名の採択者となったため、引き続き、制度の周知活動を行い、JA、農業普及所、農業委員会と連携し、新たな人材発掘を行う。 | | | | | | | | |

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和4年度)

| 基本目標 | 基本目標1 安定した雇用の確保と地域産業力の強化 | | | | | | | | | |
|----------------|--|--------------|------------------------------------|--|------|-------------|-----------|-----|-------|--|
| 施策 | 3. 就労支援 | | | | | | | | | |
| 重要業績評価指標 (KPI) | 自立支援事業による相談、就労支援件数 | | | 目標値 | 相談 | 60件 | (R2~R6累計) | 担当課 | 健康福祉課 | |
| | | | | | 就労支援 | 10件 | | | | |
| 事業経過 (相談) | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | | | |
| | 基準値 | R1 | | 44件 | | | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | | 60件 | 11件 | 18.3% | | | | |
| | | R3 | | | 26件 | 61.7% | 実人数26名 | | | |
| | | R4 | | | 9件 | 61.7% | 実人数9名 | | | |
| | | R5 | | | | 61.7% | | | | |
| | | R6 | | | | 61.7% | | | | |
| | | 合計 | | | 60件 | 37件 | 61.7% | | | |
| 事業経過 (就労支援) | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | | | |
| | 基準値 | R1 | | 6件 | | | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | | 10件 | 6件 | 60.0% | | | | |
| | | R3 | | | 4件 | 100.0% | 3名就職 | | | |
| | | R4 | | | 5件 | 150.0% | 3名就職 | | | |
| | | R5 | | | | 150.0% | | | | |
| | | R6 | | | | 150.0% | | | | |
| | | 合計 | | | 10件 | 15件 | 150.0% | | | |
| 主な事業の取組状況 | 平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立支援制度として、自立相談支援事業を実施。県から県社協への委託(本村担当窓口は県中・県南生活自立サポートセンター)。訪問支援(アウトリーチ)も含め、生活と就労に関する相談をワンストップ型窓口として機能している。 | | | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 3 未達成(80%未満) | 問題・課題等(C) | 相談から就労支援、就労に繋がっても、本人の状況により継続ができない場合も多いため、状況が深刻になる前の早い段階で相談・支援に入れるよう、住民への相談窓口の周知、発掘を行っていく必要がある。 | | | | | | |
| | 理由 | | | | | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 4 現状維持 | R4年度は、相談件数が前年より減少したが今後も継続的に実施していく。 | | | | | | | |
| | 理由 | | | | | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 困窮世帯の発掘、早期介入が図れるよう相談窓口の周知及び各関係機関との連携を図る。 | | | | | | | | | |

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和4年度)

| 基本目標 | | 基本目標2 天栄村への新しいひとの流れの創出 | | | | | | |
|----------------|--------------|------------------------|--------------------------------|---|------|-------------|----------------------|--|
| 基本目標指標 | 純異動数(転入-転出) | | | 目標値 | ▲ 22 | (R2~6平均) | 担当課 住民課 | |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | ▲ 26 | | (H27~R1平均) | | |
| | 目標と実績 | R2 | ▲ 22 | | ▲ 38 | -172.7% | 転入157、転出195 現住人口調査より | |
| | | R3 | | | ▲ 34 | -327.3% | 転入151、転出185 現住人口調査より | |
| | | R4 | | | 0 | -327.3% | 転入199、転出199 現住人口調査より | |
| | | R5 | | | | -327.3% | | |
| | | R6 | | | | -327.3% | | |
| 合計 | | ▲ 22 | ▲ 14 | -152.8% | | | | |
| 主な事業の取組状況(D) | 特段の取組なし | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | | 問題・課題等(C) | 新型コロナウイルスの影響が前年度よりもなくなり、外国人転入者の数が昨年よりも増加した。 | | | | |
| | 5 達成(100%以上) | | | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | | 理由 | | | | | |
| | 4 現状維持 | | 継続した実績値の集約や達成率の経過を計るため現状維持とする。 | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 特になし | | | | | | | |

| 施策 | | 1. UIJターンの促進・関係人口の創出 | | | | | | |
|----------------|---|----------------------|---|---|------|-------------|-------------------|--|
| 重要業績評価指標(KPI) | 移住・二地域居住問い合わせ件数 | | | 目標値 | 250件 | (R6) | 担当課 企画政策課 | |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | 238件 | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | | 240件 | 227件 | 94.6% | 移住相談委託先(夢学校)による集計 | |
| | | R3 | | 240件 | 170件 | 70.8% | 移住相談委託先(夢学校)による集計 | |
| | | R4 | | 245件 | 142件 | 58.0% | 移住相談委託先(夢学校)による集計 | |
| | | R5 | | 250件 | | 0.0% | | |
| | | R6 | | 250件 | | 0.0% | | |
| 合計 | | | | | | | | |
| 主な事業の取組状況 | 地方創生推進交付金を利用し、移住希望者と空き家のマッチングや移住に関する相談窓口の充実を図るため、H30より移住コーディネーターを配置しR2からは(一社)天栄ふるさと夢学校へ移住相談窓口等業務を委託している。移住相談件数は延べ142件と前年度比28件の減。リモートによる案内や関係機関との調整も担い、相談1件あたりの負荷が大きくなっている傾向にある。 | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | | 問題・課題等(C) | コロナ禍により地方移住への注目が高まり、県内でも移住者の奪い合いの状態。空き家バンクの登録が減少している状況にあり、移住希望者とのマッチングが難しい。 | | | | |
| | 3 未達成(80%未満) | | | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | | 理由 | | | | | |
| | 4 現状維持 | | まだ当面は地方移住への関心は高い傾向が続くことが予想されるため、村の受け入れの現状を勘案しつつ現状維持とする。 | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | どのような形で本村の魅力を最大限にPRできるか、様々な条件有利地との差別化を図るよう魅力的な施策、支援策を検討する必要がある。 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-------------------|--|--|-----|--------------------------------|---------|-----------------|-----|-------|
| 重要業績評価指標 (KPI) | 移住定住希望者現地検討会参加者数 | | | 目標値 | 40人 | (R6) | 担当課 | 企画政策課 |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | 30人 | | (R1) | | |
| | 目標と実績 | R2 | 30人 | 0人 | #DIV/0! | 感染症の影響により実施なし | | |
| | | R3 | 30人 | 0人 | #DIV/0! | 感染症の影響により実施なし | | |
| | | R4 | 35人 | 10人 | #DIV/0! | こおりやま広域圏地域体験ツアー | | |
| | | R5 | 35人 | | #DIV/0! | | | |
| | | R6 | 40人 | | #DIV/0! | | | |
| 合計 | 40人 | | | | | | | |
| 主な事業の取組状況 | コロナ禍によりR2年度R3年度の実施は見送り、R4年度はこおりやま広域圏市町村の合同地域体験ツアーを実施。本村は石川町と合同で実施した。 | | | | | | | |
| 目標 (KPI) 達成分析 (C) | 評価 | 問題・課題等 (C) | | 長く続く感染症の影響もあり、思うように参加者が伸びない状況。 | | | | |
| 指標および目標値の評価 (C) | 評価 | 理由 | | | | | | |
| | 2 指標の変更を検討 | 首都圏の方を対象とするイベントであるため、感染症の影響は大きい。開催手法、内容について検討し、指標の変更も視野に入れる。 | | | | | | |
| 今後の方針・改善策等 (A) | 今後の開催方法については他のイベント等との抱き合わせや代替実施等、指標の変更も含め検討していく。 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-------------------|--|--|-----|---|------|-------------|-----|-------|
| 重要業績評価指標 (KPI) | 移住希望者短期滞在支援者数 | | | 目標値 | 25人 | (R6) | 担当課 | 企画政策課 |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | 21人 | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | 20人 | 0人 | 0.0% | 短期滞在住宅0棟 | | |
| | | R3 | 22人 | 0人 | 0.0% | 短期滞在住宅0棟 | | |
| | | R4 | 23人 | 0人 | 0.0% | 短期滞在住宅0棟 | | |
| | | R5 | 24人 | | 0.0% | | | |
| | | R6 | 25人 | | 0.0% | | | |
| 合計 | 25人 | | | | | | | |
| 主な事業の取組状況 | 感染症の影響により、首都圏からの短期滞在型の移住体験を実施することが困難であった。移住希望者が村の暮らし等を体験できるための手段について改めて検討するとともに、短期滞在住宅の確保を進めていく。 | | | | | | | |
| 目標 (KPI) 達成分析 (C) | 評価 | 問題・課題等 (C) | | 短期滞在住宅が確保できていないことから、体験宿泊ができない。また感染症の影響により、首都圏の方々を呼び込んで体験実施等を行うことが難しい。 | | | | |
| 指標および目標値の評価 (C) | 評価 | 理由 | | | | | | |
| | 4 現状維持 | 感染症の影響が少なくなることから、現状維持とし、短期滞在住宅を確保し短期滞在型の移住体験を実施していく。 | | | | | | |
| 今後の方針・改善策等 (A) | 今後の展開方法については、短期滞在住宅を早急に確保し、短期滞在型の移住体験を積極的に受け入れていく。 | | | | | | | |

| 重要業績評価指標 (KPI) | 空き家バンク相談件数 | | | 目標値 | 40件 | (R6) | 担当課 | 建設課 |
|-------------------|---|---------------|-----|------------|--|------------------|-----|-----|
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | 17件 | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | 35件 | 14件 | -63.6% | 物件登録3、利用登録11、成約0 | | |
| | | R3 | 35件 | 20件 | -90.9% | 物件登録1、利用登録19、成約0 | | |
| | | R4 | 40件 | 13件 | -59.1% | 物件登録1、利用登録12、成約0 | | |
| | | R5 | 40件 | | 0.0% | | | |
| | | R6 | 40件 | | 0.0% | | | |
| 合計 | 40件 | | | | | | | |
| 主な事業の取組状況 | 空き家の利活用及び中古住宅の流通促進を通して、空き家の発生や増加を抑制するとともに、地域の活性化及び地域の環境保全を図ることを目的に、村内の空き家の所在や詳細の把握、所有者へ空き家バンク登録への誘導や促進、利用希望者への現地案内等の調整を行った。 | | | | | | | |
| 目標 (KPI) 達成分析 (C) | 評価 | 2 未達成 (50%未満) | | 問題・課題等 (C) | 村内で利活用が即時可能な空き家数が少なく、修繕を要したり取り壊し必須の空き家も目立つ。利用登録者にスムーズに紹介できる物件に限りがある。 | | | |
| 指標および目標値の評価 (C) | 評価 | 4 現状維持 | | 理由 | | | | |
| 今後の方針・改善策等 (A) | 「住める空き家・住みたくなる空き家」としての整備を図るため、各種補助等を周知広報し、利活用が困難な空き家に関しては解体を促す等、新築のための土地利用の推進・検討も併せて行っていく。 | | | | | | | |

| 重要業績評価指標 (KPI) | 片付け・リフォーム補助利用件数 | | | 目標値 | 3件 | (R6) | 担当課 | 建設課 |
|-------------------|--|---------------|-----|------------|---|---------------|-----|-----|
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | 3件 | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | 3件 | 4件 | 1.6% | 改修補助3件、家財撤去1件 | | |
| | | R3 | 3件 | 2件 | 0.8% | 改修補助1件、家財撤去1件 | | |
| | | R4 | 3件 | 0件 | 0.0% | 改修補助0件、家財撤去0件 | | |
| | | R5 | 3件 | | 0.0% | | | |
| | | R6 | 3件 | | 0.0% | | | |
| 合計 | 3件 | | | | | | | |
| 主な事業の取組状況 | 空き家バンク登録物件所有者または利用者が登録物件に居住するための家財処分や改修等費用に対し、最大3/5、150万円の補助を行っている。 | | | | | | | |
| 目標 (KPI) 達成分析 (C) | 評価 | 2 未達成 (50%未満) | | 問題・課題等 (C) | 一定の効果は見込めたが、賃貸のニーズが多くしかも比較的低廉な家賃設定であるために費用捻出のハードルが高く、空き家の特性上貸主の費用負担を求めることも難しいため利用が進まない。 | | | |
| 指標および目標値の評価 (C) | 評価 | 4 現状維持 | | 理由 | | | | |
| 今後の方針・改善策等 (A) | 「住める空き家・住みたくなる空き家」としての整備を図るため、各種補助等を周知広報し、利活用が困難な空き家に関しては解体を促す等、新築のための土地利用の推進・検討も併せて行っていく。 | | | | | | | |

| 重要業績評価指標 (KPI) | 関係人口創出のための取り組み回数 | | | 目標値 | 4回 | (R6) | 担当課 | 企画政策課 |
|-------------------|---|--|------------|--|---------|-----------------------------------|-----|-------|
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | 2回 | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | 2回 | 1回 | 50.0% | ファンクラブ | | |
| | | R3 | 2回 | 4回 | #VALUE! | ファンクラブ、オンライン交流事業、てんぬぐい作成、フォトコンテスト | | |
| | | R4 | 2回 | 4回 | #VALUE! | ファンクラブ、オンライン交流事業、てんぬぐい作成、カレンダー作成 | | |
| | | R5 | 3回 | | #VALUE! | | | |
| | | R6 | 4回 | | #VALUE! | | | |
| | | 合計 | 4回 | | | | | |
| 主な事業の取組状況 | 天栄ファンクラブ制度の運営、県中地方振興局との共同実施によるオンライン交流事業の開催、村オリジナル手拭い“てんぬぐい”作成・配布、カレンダー作成等、主にオンラインやweb、SNS、郵送等を活用した間接的な交流を軸に、さまざまなターゲットに対して関係人口創出の取り組みを実施した。 | | | | | | | |
| 目標 (KPI) 達成分析 (C) | 評価 | 5 達成(100%以上) | 問題・課題等 (C) | コロナ禍にあり、直接来村していただいて村を体感していただけの事業は難しい状態だったが、間接的な関わりによる手法等でさまざまな取り組みに挑戦することができた。 | | | | |
| | 理由 | | | | | | | |
| 指標および目標値の評価 (C) | 評価 | 理由 | | | | | | |
| | 4 現状維持 | 今後も感染症の動向を随時勘案しながらの事業展開が予想される。直接・間接問わず関わりをもってもらえる事業を検討していくため現状維持とする。 | | | | | | |
| 今後の方針・改善策等 (A) | 本関係人口創出事業によりつながった縁をより深化させるとともに、サポーター制度申込者やふるさと納税寄附者等、別の入り口からの関係人口も取り込んでいくため、工夫しながら幅広く今後も広めていく。 | | | | | | | |

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和4年度)

| | | | | | | | | | |
|----------------|---|--------------|-----|-----------|--|-------------|-----|-----|--|
| 基本目標 | 基本目標2 天栄村への新しいひとの流れの創出 | | | | | | | | |
| 施策 | 2. 観光・交流の促進 | | | | | | | | |
| 重要業績評価指標(KPI) | 観光入込客数 | | | 目標値 | 380千人 | (R6) | 担当課 | 産業課 | |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | | |
| | 基準値 | H30 | | 309千人 | | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | | 220千人 | 236千人 | 107.3% | | | |
| | | R3 | | 260千人 | 318千人 | 122.3% | | | |
| | | R4 | | 300千人 | 447千人 | 149.0% | | | |
| | | R5 | | 380千人 | | 0.0% | | | |
| | | R6 | | 380千人 | | 0.0% | | | |
| | | 合計 | | 380千人 | | | | | |
| 主な事業の取組状況 | 天栄村観光協会と連携し、観光PR事業、天栄村サポーター事業、ファミトリップツアー事業等を実施し、誘客促進に努めた。 | | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 5 達成(100%以上) | | 問題・課題等(C) | 目標値は達成したものの、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の風評被害が残る中、新型コロナウイルスの感染拡大により、宿泊者数や観光客が未だ戻ってきていないため、観光商工業に甚大な影響を与えている。 | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 5 数値の上方修正 | | 理由 | 目標値を達成し、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類感染症に移行され、コロナ禍前の日常を取り戻しつつあるため、積極的にPR活動を行い、観光入込客数の回復に努める。 | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 5類への移行後も、感染防止対策に留意しながら、「持続可能な観光」、「消費拡大」の実現に向けた各誘客事業を推進していく。 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|----------------|-------------|--------------|-----|-----------|------|-------------|--------|-----|--|
| 重要業績評価指標(KPI) | 滞在型誘客促進事業 | | | 目標値 | 100件 | (R6) | 担当課 | 産業課 | |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | | |
| | 基準値 | H30 | | 97件 | | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | | 100件 | 16件 | 16.0% | 延べ200人 | | |
| | | R3 | | 100件 | | 0.0% | | | |
| | | R4 | | 100件 | | 0.0% | | | |
| | | R5 | | 100件 | | 0.0% | | | |
| | | R6 | | 100件 | | 0.0% | | | |
| | | 合計 | | 100件 | 16件 | 16.0% | | | |
| 主な事業の取組状況 | 令和2年度で事業終了。 | | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 1 未実施・把握できない | | 問題・課題等(C) | - | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 2 指標の変更を検討 | | 理由 | - | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | - | | | | | | | | |

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和4年度)

| | | | | | | | | |
|-------------------|-------------------------------|--|------|---|--------------|------------------------|-------------|--|
| 基本目標 | 基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実 | | | | | | | |
| 施策 | 1. 結婚希望の実現 | | | | | | | |
| 基本目標指標 | 合計特殊出生率 出生数 | | | 目標値 | 1.30 195人 | (R2~R6平均) (R2~R6累計) | 担当課 健康福祉課 | |
| 事業経過 (合計特殊出生率) | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | 1.19 | | (H27~R1平均) | | |
| | 目標と実績 | R2 | 1.30 | | 0.97 | 74.6% | | |
| | | R3 | | | 1.40 | 91.2% | 出生数30人 | |
| | | R4 | | | 0.70 | 78.7% | 出生数16人 | |
| | | R5 | | | | 59.0% | | |
| | | R6 | | | | 47.2% | | |
| 合計 | | 1.30 | 0.77 | 59.0% | | | | |
| 事業経過 (出生数) | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | 189人 | | (H27~R1累計) | | |
| | 目標と実績 | R2 | 195人 | | 20人 | 10.3% | | |
| | | R3 | | | 30人 | 25.6% | 合計特殊出生率1.4% | |
| | | R4 | | | 16人 | 33.8% | 合計特殊出生率0.7% | |
| | | R5 | | | | 33.8% | | |
| | | R6 | | | | 33.8% | | |
| 合計 | | 195人 | 66人 | 33.8% | | | | |
| 主な事業の取組状況(D) | 子育て支援に関する支援事業の見直し、補助事業の確立と実施。 | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 問題・課題等(C) | | 子育て支援制度とともに、親が安心して生活できる基盤作りと仕事の安定。子育ての連動性が必要。 | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 理由 | | | | | | |
| | 4 現状維持 | 子育て支援については、一過性のものではなく、中長期的な成果を目的としている。 | | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 継続的かつ取り組みの実施が必要。 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|----------------|---|---|-----|---------------------------------|-----|-------------|------------|--|
| 重要業績評価指標(KPI) | てんえい縁結び応援サポーターによる婚約数 | | | 目標値 | 5組 | (R2~6累計) | 担当課 企画政策課 | |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | 0組 | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | 5組 | | 0組 | #DIV/0! | サポーター数:2名 | |
| | | R3 | | | 0組 | #DIV/0! | サポーター数:9名 | |
| | | R4 | | | 0組 | #DIV/0! | サポーター数:11名 | |
| | | R5 | | | | #DIV/0! | | |
| | | R6 | | | | #DIV/0! | | |
| 合計 | | 5組 | 0組 | 0.0% | | | | |
| 主な事業の取組状況 | 独身者がいつでも気軽に相談できる体制確保のため縁結び応援サポーター制度を充実させ、地域の結婚希望の男女の出会いの創出やきっかけづくりに繋げる。 | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 問題・課題等(C) | | 感染症の影響により、サポーターの活動が思うようにできなかった。 | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 理由 | | | | | | |
| | 4 現状維持 | ニューノーマルでの婚活を標準化し、確実な成婚への支援を確保するため現状維持とする。 | | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 結婚への機運の醸成やきっかけづくりに奔走したり、サポーター数の増加、サポーター活動の充実のための養成講座等を実施する。 | | | | | | | |

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和4年度)

| 基本目標 | 基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実 | | | | | | |
|----------------|--|--|-----|-------|-----------|-------------|----------|
| 施策 | 2. 出産・子育て支援 | | | | | | |
| 重要業績評価指標(KPI) | 特定不妊治療費助成による妊娠成功件数 | | 目標値 | 8件 | (R2～R6累計) | 担当課 健康福祉課 | |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | |
| | 基準値 | R1 | | 7件 | | (H27～R1累計) | |
| | 目標と実績 | R2 | 8件 | | 2件 | 25.0% | |
| | | R3 | | | 0件 | 25.0% | 申請延件数 5件 |
| | | R4 | | | 1件 | 37.5% | 申請延件数 3件 |
| | | R5 | | | | 37.5% | |
| | | R6 | | | | 37.5% | |
| 合計 | | 8件 | 3件 | 37.5% | | | |
| 主な事業の取組状況 | 令和4年4月1日より特定不妊治療費が保険診療に位置付けられた。保険適用の円滑な移行に向け、令和3年度から令和4年度の移行期に治療がまたがっている方々に対し、治療計画に支障が生じないように、その経済的支援の軽減及び少子化対策の推進を図ることを目的に実施。 | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 問題・課題等(C) | | 理由 | | | |
| | 2 未達成(50%未満) | 妊娠・出産に至らなかった場合の精神面のフォロー。 | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 理由 | | | | | |
| | 2 指標の変更を検討 | 特定不妊治療の保険適用に伴い、助成事業を廃止。(R4年度のみ経過措置を実施) | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 医療保険が適用されず高額の治療費に係る不妊治療に対する経済的負担の軽減について検討 | | | | | | |

| 重要業績評価指標(KPI) | 周産期死亡数 | | | 目標値 | 0件 | (R6) | 担当課 健康福祉課 | |
|----------------|--|--------------------------|-----|-----|-----|-------------|-----------|--|
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | - | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | | 0件 | 0件 | | | |
| | | R3 | | 0件 | 1件 | | 早期新生児死亡 | |
| | | R4 | | 0件 | 0件 | | なし | |
| | | R5 | | 0件 | | | | |
| | | R6 | | 0件 | | | | |
| 合計 | | | | | | | | |
| 主な事業の取組状況 | 妊娠届があった妊婦に対して、母子健康手帳及び妊婦健康診査受診票(15回分公費負担)を交付し、妊娠早期から継続的な支援を実施している。 | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 問題・課題等(C) | | 理由 | | | | |
| | 5 達成(100%以上) | 予期せぬ妊娠をした際の相談窓口の周知徹底 | | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 理由 | | | | | | |
| | 4 現状維持 | 引き続き、妊娠・出産等に係る支援体制整備を図る。 | | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 今後も継続して、切れ目ない支援を継続。 | | | | | | | |

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和4年度)

| | | | | | | | | |
|----------------|---|--------------|-----------|------------------------------------|----------|-----------------|---------------------------|-----|
| 基本目標 | 基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実 | | | | | | | |
| 施策 | 3. 特色ある学びの場の形成 | | | | | | | |
| 重要業績評価指標(KPI) | 全国学力・学習状況調査 (問題全国平均正答率の比較) | | | 目標値 | 全国平均を上回る | (R6) | 担当課 | 教育課 |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | / | 全国平均と同程度 | / | 村内小・中学校全国学力検査結果 | | |
| | 目標と実績 | R2 | 全国平均を上回る | なし | | | R2は全国学力・学習状況調査なし | |
| | | R3 | 全国平均を上回る | 小:全国平均下回る 中:全国平均と同程度 | | | 小学校は全国平均を下回る、中学校は全国平均と同程度 | |
| | | R4 | 全国平均を上回る | 小:全国平均下回る 中:全国平均下回る | | | 小学校は全国平均を下回る、中学校は全国平均を下回る | |
| | | R5 | 全国平均を上回る | | | | | |
| | | R6 | 全国平均を上回る | | | | | |
| | | 合計 | / | / | / | / | / | |
| 主な事業の取組状況 | 県教育委員会が作成した「ふくしまの授業スタンダード」を基に主体的・対話的で深い学びが各校で展開されるとともに、「ふくしまの家庭学習スタンダード」による家庭学習への取組みの習慣化を推進した。令和4年度は、小学校は全国平均を下回り、中学校は全国平均下回った。 | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 2 未達成(50%未満) | 問題・課題等(C) | 令和4年度は、小学校は全国平均を下回り、中学校は全国平均を下回った。 | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 4 現状維持 | 理由 | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け授業の改善を図り子どもたちの学習意欲を喚起するとともに、家庭学習の習慣化を推進し、確かな学力の定着を図っていく。また、県の算数・数学授業づくり支援訪問事業の積極的な活用や、令和3年度から導入したAIDリルによる子どもたち一人一人に合った学びの実現を図る。 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|----------------|---|-----------------|-----------|--|-------|----------------|-----|-----|
| 重要業績評価指標(KPI) | 英検3級取得率(中学校卒業まで) | | | 目標値 | 30.0% | (R6) | 担当課 | 教育課 |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | / | 12.0% | / | 3級以上取得生徒/村立中学生 | | |
| | 目標と実績 | R2 | 30.0% | 19.1% | 63.7% | 26名/136名 | | |
| | | R3 | 30.0% | 18.5% | 61.7% | 24名/130名 | | |
| | | R4 | 30.0% | 24.4% | 81.3% | 29名/119名 | | |
| | | R5 | 30.0% | | 0 | | | |
| | | R6 | 30.0% | | 0 | | | |
| | | 合計 | / | / | / | / | | |
| 主な事業の取組状況 | 中学校卒業までに全員が英語検定3級以上を取得することを目指し、英語検定の受講料を補助する。 | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 4 ほぼ達成(80%~99%) | 問題・課題等(C) | 英語検定3級は、中学校卒業レベル相当であることから、卒業までに全員が取得することを目指しているが、R4年度の全国の中学生の英語検定3級相当以上の取得者の割合が27.3%であることから、全員の取得は難しい。 | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 4 現状維持 | 理由 | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 村内の中学生のほぼ全員が英語検定を受検しており、英語学習意欲の向上に繋がっている。英語検定3級は中学校卒業レベル相当であることから、事業方針・内容については現状維持とし、他の英語教育関連事業の効果的な実施とあわせ、引き続き支援していく必要がある。 | | | | | | | |

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和4年度)

| | | | | | | | |
|----------------|--|-----------|--|-------|-----------|-------------|----------------|
| 基本目標 | 基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実 | | | | | | |
| 施策 | 4. 若者求心力の創出 | | | | | | |
| 重要業績評価指標(KPI) | 村外の大学生と地元住民との交流事業の開催 | | 目標値 | 400人 | (R2～R6累計) | 担当課 湯本支所 | |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | |
| | 基準値 | R1 | | - | | | |
| | 目標と実績 | R2 | 400名 | | 76名 | 19.0% | オンラインでの事業展開を実施 |
| | | R3 | | | 10名 | 21.5% | 文化祭展示への協力 |
| | | R4 | | | 18名 | 26.0% | eスポーツ交流 |
| | | R5 | | | | 26.0% | |
| | | R6 | | | | 26.0% | |
| 合計 | | 400名 | 104名 | 26.0% | | | |
| 主な事業の取組状況 | 高齢者の認知症予防としてeスポーツの体験会を開催。技術的サポートとして村外の学生たちにも参加してもらい、地域の高齢者との交流を図った。普段馴染みの無いコンピューターゲームを高校生から操作方法の指導を受け、実際に体験してもらうことができた。やりながら徐々に学生との会話も増え笑顔が見られた。 | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 問題・課題等(C) | コロナ禍での実施のため回数は2回であった。今後交流形態について検討したい。 | | | | |
| | 2 未達成(50%未満) | | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 理由 | | | | | |
| | | 4 現状維持 | 都市部と農村部との交流や若者の定着、流出抑制を図るためにも実現に向かって努力したい。 | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 都市部との交流及び地域の方々の生きがいづくり、若者の村外流出防止、故郷への愛着等図るためにも引き続き事業展開を図っていきたい。 | | | | | | |

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和4年度)

| 基本目標 | | 基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成 | | | | | | | |
|----------------|---|---------------------|--|--------------------------|-------|-------------|-----|-------|--|
| 基本目標指標 | ”住みやすい”と答えた人の割合 | | | 目標値 | 72.5% | (R6) | 担当課 | 企画政策課 | |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | | |
| | 基準値 | R1 | | 52.3% | | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | | - | | | | | |
| | | R3 | | - | | | | | |
| | | R4 | | - | | | | | |
| | | R5 | | | | | | | |
| | | R6 | | 72.5% | | 0.0% | | | |
| 合計 | | | | | | | | | |
| 主な事業の取組状況(D) | 令和元年9月に村内在住の15歳以上65歳未満の方から無作為に抽出した500名を対象に村民アンケートを実施し、第2期総合戦略においてアンケート結果をもとに様々な施策を展開している。 | | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | | 問題・課題等(C) | アンケート実施年度ではないため、KPI分析不可。 | | | | | |
| | 1 未実施・把握できない | | | | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | | 理由 | | | | | | |
| | 4 現状維持 | | 感染症の影響により“住みやすい”の価値や指標に変化があることも予想されるが、まだ計画年度途中(3年目)であるため現状維持とする。 | | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 第2期総合戦略において、“住みやすい”と思われるよう各種施策を講じた。計画期間の最終年度(R6)に当期の評価や次期計画の参考のために再度アンケートを実施予定。 | | | | | | | | |

| 施策 | | 1. 地域連携による経済・生活圏の形成 | | | | | | | | |
|----------------|---|---------------------|---|--|-----|-------------|--------------------------------|-------|--|--|
| 重要業績評価指標(KPI) | 郡山広域圏における連携の推進 | | | 目標値 | 継続 | (R2~R6) | 担当課 | 企画政策課 | | |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | | | |
| | 基準値 | R1 | | 継続 | | 都市圏ビジョン改訂 | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | | 継続 | 継続 | 100.0% | 連携協約の一部変更・PR映像制作 | | | |
| | | R3 | | | 継続 | 100.0% | 都市圏ビジョン改訂・公民協奏パートナーシップ包括連携協定締結 | | | |
| | | R4 | | | 継続 | 100.0% | 新規事業創出ワーキンググループ | | | |
| | | R5 | | | | | | | | |
| | | R6 | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | |
| 主な事業の取組状況 | 人口減少・少子高齢化社会においても、活力ある地域経済を維持するとともに、圏域住民全体が将来も安心して快適な生活が送れる地域づくりを目指し、17市町村が連携し各種事業に取り組んでいく。令和3年度に磐梯町が加入し、現在圏域構成市町村は17市町村。 | | | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | | 問題・課題等(C) | 構成市町村も増え、SDGsやDXの推進等、新たな分野への情報共有や連携を通じ、圏域全体で住民の生活水準向上や課題解決に寄与することができている。 | | | | | | |
| | 5 達成(100%以上) | | | | | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | | 理由 | | | | | | | |
| | 4 現状維持 | | 市町村規模等の違いから、構成市町村と完全に足並みを揃えて事業展開することは難しいが、意識の醸成や情報共有でも効果は見られ、今後も現状維持していくことが妥当と思われる。 | | | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 今後も、郡山市を中心として各種連携事業に取り組んでいくとともに、SDGs未来都市である郡山市から本村独自のSDGs関連施策のためのヒントやきっかけ提供を受けながら村全体のSDGs推進を図る。 | | | | | | | | | |

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和4年度)

| | | | | | | | | |
|----------------|---|----------------------------|-----|---|--------|---------------|-----|-------|
| 基本目標 | 基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成 | | | | | | | |
| 施策 | 2. 誰もが暮らしやすい生活環境づくり | | | | | | | |
| 重要業績評価指標(KPI) | バス・タクシー利用券の利用件数 | | | 目標値 | 40件 | (R6) | 担当課 | 企画政策課 |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | 22件 | | バス17件、タクシー5件 | | |
| | 目標と実績 | R2 | 30件 | 21件 | 70.0% | バス15件、タクシー6件 | | |
| | | R3 | 30件 | 20件 | 66.7% | バス12件、タクシー8件 | | |
| | | R4 | 30件 | 32件 | 106.7% | バス13件、タクシー19件 | | |
| | | R5 | 30件 | | 0.0% | | | |
| | | R6 | 40件 | | 0.0% | | | |
| 合計 | | | | | | | | |
| 主な事業の取組状況 | 天栄村高齢者バス利用助成事業、天栄村高齢者等タクシー利用助成事業ともに、ホームページへの掲載や各種事業、イベントに併せてチラシの配布を行い利用の促進を図っている。また、天栄村高齢者等タクシー利用助成事業については、令和4年8月に要綱改正を行い、湯本地区住民も対象とした。 | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 問題・課題等(C) | | 目標値は達成したものの、天栄村高齢者等タクシー利用助成事業において、タクシー券の枚数と補助金額を増やしてほしいとの要望があるため、住民ニーズに合うような見直しを検討する。 | | | | |
| | 5 達成(100%以上) | | | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 理由 | | | | | | |
| | 4 現状維持 | 今後も交通弱者の需要は見込まれるため現状維持とする。 | | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 住民ニーズや本村の交通や移動の環境を全体的に把握し、状況に応じ要綱見直しを図る等、高齢者や障害者等への公共交通確保の観点から継続して的確な支援を行っていく。 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|----------------|---|--|-----|-------|-------|-------------|-----|-------|
| 重要業績評価指標(KPI) | 福祉車両貸出件数 | | | 目標値 | 50件 | (R6) | 担当課 | 健康福祉課 |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | 25件 | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | 30件 | 22件 | 73.3% | 実利用人数5人 | | |
| | | R3 | 35件 | 11件 | 31.4% | 実利用人数4人 | | |
| | | R4 | 40件 | 38件 | 95.0% | 実利用人数9人 | | |
| | | R5 | 45件 | | 0.0% | | | |
| | | R6 | 50件 | | 0.0% | | | |
| 合計 | | | | | | | | |
| 主な事業の取組状況 | 福祉車両貸出事業として、村内に居住する自力で歩行が困難な高齢者や重度の身体障害者又は知的障害者等に対し、外出を支援するために福祉車両の貸出しを実施し、健康で生きがいのある長寿・福祉社会づくりを図る。 | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 問題・課題等(C) | | 事業の周知 | | | | |
| | 4 ほぼ達成(80%~99%) | | | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 理由 | | | | | | |
| | 4 現状維持 | 往診等の充実により利用件数は伸び悩んでいるが、必要な在宅高齢者、障がい者は一定数おり、周知等により今後の需要が見込まれることから現状維持とする。 | | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 広報活動や地域包括支援センター・ケアマネージャーへの周知活動を重点的に実施し、事業の浸透を目指す必要がある。 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|----------------|---|--------------|--------------------------------------|--|-------|----------------------|-----|-------|
| 重要業績評価指標 (KPI) | 高齢者生きがい活動支援事業参加者数 | | | 目標値 | 300人 | (R6) | 担当課 | 健康福祉課 |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | 250人 | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | 200人 | 180人 | 90.0% | | | |
| | | R3 | 200人 | 153人 | 76.5% | 水中14名、サロン77名、湯ったり62名 | | |
| | | R4 | 250人 | 107人 | 42.8% | 水中8名、サロン54名、湯ったり45名 | | |
| | | R5 | 250人 | | 0.0% | | | |
| | | R6 | 300人 | | 0.0% | | | |
| 合計 | | | | | | | | |
| 主な事業の取組状況 | 高齢者の生きがいづくりを目的に、湯ったりミニデイサービス事業(年5回)、水中ウォーキング事業(年9回)、いきいきサロン事業(年9回)、湯本サロン事業(年9回)を実施している。令和4年度はコロナ禍により、事業の実施回数が減った。 | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 2 未達成(50%未満) | 問題・課題等(C) | 固定化していた参加者の中にもコロナ禍の影響等や、本人の身体的事由によって参加が難しくなってしまった方が増加している。 | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | | | 理由 | | | | |
| | | 4 現状維持 | 高齢者の増加に伴い今後さらに需要、必要性が見込まれるため現状維持とする。 | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 各種事業の実施形態を工夫し、事業展開の周知を図り、既存参加者の意欲向上・新規参加者数の増加を目指す。 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|----------------|--|--------------|---|----------------|-------|-------------|-----|-------|
| 重要業績評価指標 (KPI) | 地域自主サロン数及び参加者数 | | | 目標値 | 8か所 | (R6) | 担当課 | 健康福祉課 |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | 4か所 | | 参加者数50人 | | |
| | 目標と実績 | R2 | 5か所 | 4か所 | 80.0% | | | |
| | | R3 | 6か所 | 5か所 | 83.3% | 参加者数59人 | | |
| | | R4 | 7か所 | 6か所 | 85.7% | 参加者数66人 | | |
| | | R5 | 8か所 | | 0.0% | | | |
| | | R6 | 8か所 | | 0.0% | | | |
| 合計 | | | | | | | | |
| 主な事業の取組状況 | 地域コミュニティ及び健康増進、介護予防の推進のため、各地区又はグループによる茶話会に健康体操や栄養指導、口腔衛生指導を実施。 | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 3 未達成(80%未満) | 問題・課題等(C) | 各地区の運営に関する人材不足 | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | | | 理由 | | | | |
| | | 4 現状維持 | 歩いて行ける身近な地域内での介護予防・ご近所との仲間づくりの場を持つことが今後重要であるため。 | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 各サロンの活動を事例に、各地域におけるリーダーを育成し、新規自主サロンの立ち上げを目指す。 | | | | | | | |

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和4年度)

| 基本目標 | 基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成 | | | | | | |
|------------------------|---|---------------------------------------|---------|--|---------|---------------------------------|--------------|
| 施策 | 3. 既存施設の利活用 | | | | | | |
| 重要業績評価指標 (KPI) | 生涯学習センター利用者数 体育施設利用者数 | | | 目標値 | 92,000人 | (R6) | 担当課 生涯学習課 |
| | | | | 目標値 | 39,000人 | (R6) | |
| 事業経過 (生涯学習センター利用者数) | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | |
| | 基準値 | R1 | / | 76,776人 | / | | |
| | 目標と実績 | R2 | 80,000人 | 111,237人 | 139.0% | 確定申告会場として利用 | |
| | | R3 | 83,000人 | 127,983人 | 154.2% | 確定申告会場として利用 | |
| | | R4 | 86,000人 | 130,642人 | 151.9% | 確定申告会場、期日前投票所として利用 | |
| | | R5 | 89,000人 | | 0.0% | | |
| | | R6 | 92,000人 | | 0.0% | | |
| | | 合計 | / | / | / | / | |
| 事業経過 (体育施設利用者数) | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | |
| | 基準値 | R1 | / | 34,656人 | / | | |
| | 目標と実績 | R2 | 35,000人 | 16,937人 | 48.4% | 新型コロナウイルス感染症防止策により利用停止の期間があった。 | |
| | | R3 | 36,000人 | 24,055人 | 66.8% | 新型コロナウイルスワクチン接種会場として利用する期間があった。 | |
| | | R4 | 37,000人 | 18,804人 | 50.8% | 利用団体の活動休止や工事等による利用停止期間があった。 | |
| | | R5 | 38,000人 | | 0.0% | | |
| | | R6 | 39,000人 | | 0.0% | | |
| | | 合計 | / | / | / | / | |
| 主な事業の取組状況 | 生涯学習センターについては、各種講座等主催事業の他、各種団体等への会議、活動への貸し出し利用、また、一般の方々等の図書室利用や中学生の下校時の待機場所としての利用がある。 また、体育施設については天栄村総合農村運動広場、天栄村体育館、天栄村屋内運動場、天栄村屋内スポーツ運動場を村主催行事の他、村内外の個人、団体及び中学校の部活動等に貸し出ししている。 | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 問題・課題等(C) | | 体育施設は、週4回天栄村体育館を利用していた村内のスポーツ団体が活動を休止したため利用者数が大幅に減少した。 | | | |
| | 3 未達成(80%未満) | | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 理由 | | | | | |
| | 4 現状維持 | 体育施設については、コロナ後の社会状況により利用を積極的に受け入れていく。 | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 利用者の利用しやすい施設となるよう、適切な施設管理を行い、備品等についても適宜必要に応じ更新等を行っていく。 | | | | | | |

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和4年度)

| | | | | | | | | |
|----------------|--|-----------------------------------|------|--|--------|-------------|-----|-----|
| 基本目標 | 基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成 | | | | | | | |
| 施策 | 4. 消費喚起の拡充 | | | | | | | |
| 重要業績評価指標(KPI) | ふるさとサポーター会員数 | | | 目標値 | 550名 | (R6) | 担当課 | 産業課 |
| 事業経過 | 項目 | 年度 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 備考(実績の概要など) | | |
| | 基準値 | R1 | | 514名 | | | | |
| | 目標と実績 | R2 | 550名 | 553名 | 100.5% | | | |
| | | R3 | 550名 | 508名 | 92.4% | | | |
| | | R4 | 550名 | 515名 | 93.6% | | | |
| | | R5 | 550名 | | 0.0% | | | |
| | | R6 | 550名 | | 0.0% | | | |
| 合計 | | | | | | | | |
| 主な事業の取組状況 | 天栄村を支えていただける応援団「天栄村サポーター」を募集する。会員に、イベント等の案内を随時お知らせするとともに、特典付き会員パスポートを送付し来村を促進する。さらに、4,000円相当の村特産品及び商品紹介のチラシ等を送付し、新規顧客の開拓等の事業効果を図る。 | | | | | | | |
| 目標(KPI)達成分析(C) | 評価 | 問題・課題等(C) | | サポーター会員の来村が少ないため、観光客誘客促進のためにも、サポーター会員の来村を促すような新たな取り組みや改善を実施することが課題である。 | | | | |
| | 4 ほぼ達成(80%~99%) | | | | | | | |
| 指標および目標値の評価(C) | 評価 | 理由 | | | | | | |
| | 4 現状維持 | サポーター会員のPRを積極的に行い、会員の増加及誘客促進に努める。 | | | | | | |
| 今後の方針・改善策等(A) | 村特産品の内容を見直すとともに、各種イベントにおいて積極的にPRし、新規会員の増加を図る。 | | | | | | | |